

にあり

物には にあり 木あり

昔 香りをつくると 学校で仕事をしていた

ことがあり

事務所にいくと

見られる方の パンフレットにあり

何かと見ると

一週同様に 香りの香りが 出るといって

その教師は 私の名前を呼んで

いれどくし

勝負にさめたり

と思っただけの しがた

覚悟して 仕事をすることにした

とわかく ぶい云々 難題に

香水を詰めて もううことです

チーといは ざわやか

作の 香水の 小瓶

いとつひと 香りを 見て

いさ 三つはいい 最初の香り

たりすい とこめと

ところ木三つあると

ハナはきか厚く厚くて 皆同じに感じ

やまなく 才の手でいく

私の部屋に その武器が置いてある

お正袖をうけ取 おもちゃをやく香りが

ハナへの知をまともとし てくわ

これは子供のもの 思い出の香でもある

なんとお新まつ 笑顔をし じいじ

現在 テーブルの上には 神戸のたいががある

少しおは 肩に センターが のせとびうた

この二つの香りが だれより きれい

手をハナの近くへ 持っていくと

いづれの私のに おい おしていき

2024
6/4